パレット保育園・高田

2023年度自己評価表

評価日：2024年2月22日

2023.07.24第三版

項目	番号	内容	評価	実施していること
保育方針の 共通理解と 全体的な計画等の作成	1	保育の理念や基本方針が子どもを尊重したものになっており、全職員が理解し、実践しているか	A	園内に保育理念・保育方針・スタッフの使命を掲示している。 年度初めの職員会議や研修時に読み合わせや確認をし、周知徹底している。
	2	全体的な計画は基本方針に基づき、子どもの最善の利益を第一にして作成されているか	A	前年度の見直しをし、職員会議で読み合わせをし、作成している。
	3	日常の保育を通して子どもの意見や意思をくみ取る努力をし、指導計画に反映させているか	A	子どもの成長を考慮し、計画を柔軟に見直している。言葉で表現できない子どもの場合などは、気持ちを代弁しながら意思を確認したり安心感が持てるようにしている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・園目標、クラス目標は常に見ることができるよう掲示している。			
	【課題・対策】 ・保護者へ事業計画や全体的な計画の周知が今までできていなかったので、進級説明会などで伝えていきたい。			
子どもの発達や 状況に応じた 適切な援助の実施	4	入園前や入園後すぐに子どもの発達状況や課題を把握しているか	A	入園児に個人面談を実施し、担任が把握する。重要事項は全職員で共有する。
	5	新入園児受け入れ時の配慮を十分しているか	A	園児の状況に応じ、1週間程度の慣らし保育をおこなう。保護者との情報共有・交換のために保護者用アプリ『コドモン』の連絡ノート機能でコミュニケーションを図っている。
	6	子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成しているか	A	クラス担任が中心となり、作成し、年に数回振り返り・反省を元に見直しを行っている。保護者の意向も可能な限り反映している。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・新入園児（乳児）の給食開始時は、まず保護者に介助していただきながら園児の喫食状況やきざみ、咀嚼などを確認し保護者と共有するようにしている。			
	【課題・対策】 ・4月当初は新入園児に目が行きがちになってしまう為、進級児が不安にならないよう保育者同士が声をかけ合いフォローしていく必要がある。			
快適な施設環境の確保	7	子どもが快適に過ごせるような環境への配慮がなされているか	A	各部屋に温湿度計を設置し、チェックをする。毎日清掃・消毒をおこない、清潔を保つようにしている。
	8	子どもの発達に応じた環境が確保されているか	A	食事や午睡の空間を作っている。異年齢交流、自由保育、コーナー保育などを取り入れている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・周囲が気になってしまう場合などは、パーテーションを使用し落ち着いた環境設定をする。			
	【課題・対策】 ・　設備はまだまだ新しいが10年経過し所々修繕が必要な場面も見られる。早めの修理（自分たちでできる範囲）をすることで大きな修繕にならずに済むので、不具合があった場合、早めの報告を徹底していきたい。 ・広さはゆとりがあるので、子どもの生活しやすい動線の見直しをしていきたい。			
一人一人の子どもに 個別に対応する 努力	9	子ども一人一人の状況に応じた保育目標を設定し、それに応じた個別指導計画を作成しているか	A	0～2歳児は一人ひとりの状況に応じた個人別の月案を作成している。
	10	子ども一人一人の発達の過程に応じた対応をし、その記録があるか	A	成長発達記録・園児健康診断記録表・健康カルテ等、必要書類をコドモン内に記録をし、全職員で情報共有をしている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】			
	【課題・対策】 ・出来るだけ個別でゆったりと関わりを持つことが望ましいが、対応する園児が複数いる場合はなかなか難しい。保育者同士の連携がより大切になる。			

パレット保育園・高田

2023年度自己評価表

評価日：2024年2月22日

2023.07.24第三版

項目	番号	内容	評価	実施していること
保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み	11	特に配慮を要する子どもを受け入れた場合、保育する上で、必要な情報が共有化されているか	A	ミーティング時に情報共有をし、対応を話し合っている。外部の専門機関の研修に参加し、その内容も共有をしている
	12	虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか	A	毎日の受け入れ時に視診・触診を丁寧にしている。送り迎え時の会話などからも早期発見に努めている。独自の児童虐待マニュアルを配備しており、全職員で研修をしている。
	13	アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができているか	A	独自のアレルギー対応マニュアルを配備し、全職員で研修をしている。マニュアルに沿って、書類、環境、備品を整え、誰でもがわかるよう対応をしている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・配慮の必要な園児に対しては全職員で情報共有を行っている。また心理士の先生よる専門的な研修を定期的に行うことで特性の理解や対応の仕方を学ぶ機会がある。			
	【課題・対策】 ・家庭で様子が見えにくい場合は、家庭での困り感を聞くことで共有し園での対応も柔軟に行ようにする。			
苦情解決体制	14	保護者がサービスについての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっているか、また迅速に対応できる仕組みになっているか	A	苦情処理規程にそって、園内に苦情受付体制の掲示をしている。園だけではなく、第三者委員、公的機関にも要望や苦情を伝えられる仕組みになっている。普段の要望はコドモン内の連絡ノート機能や行事アンケートでも伝えることができる。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・保護者や近隣からの要望や苦情は、送球に対応することで大きな苦情にならないよう務めた。			
	【課題・対策】 ・保護者でない方が園周辺に路上駐車することがあり、周知をしているがなかなか改善されない。掲示をすることで多少の抑止にはなった。			
保育内容（あそび）	15	子どもが主体的に活動できる環境構成ができているか	B	年齢や発達に応じたおもちゃをそろえている。自由遊びの時間はコーナー保育ができるよう工夫をしている。
	16	遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか	B	朝・夕は子どもたちが自由に遊べるように時間を設けている。
	17	動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験が取り入れられているか	A	おいも掘りをおこなっている。野菜・花の栽培やカブトムシを育てたりしている。
	18	子どもが歌やリズム、絵や文字、からだを動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか	A	独自の能力開発プログラムの中に、絵描き歌、運動プログラム、文字や数字に興味をもてるテキストを準備している。またそれを毎日の保育に取り入れている。
	19	遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮しているか	A	朝、夕の合同保育の時間だけでなく、異年齢保育をおこなっている。園児同士の関わりだけでなく、職員が仲立ちをしながら会話や関わりを持って保育をしている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・子どもたちから出た意見を尊重し、新たなイベントを計画するなどした。また全園児で取り組んだり、異年齢での交流の場を設けたりした。			
	【課題・対策】 ・朝夕の過ごし方は玩具や遊びがマンネリ化してしまうこともあるので、子どもが主体的に遊びを見つけられるように援助していきたい。子ども主体の遊びは継続してできるよう保育者もサポートが必要と感じた。			
保育内容（生活）	20	食事を豊かに楽しむ工夫をしているか	A	個々の食事量に配慮しながら、完食の喜びを味わえるような調理方法や配膳方法を工夫している。職員も指導食を食べながら、食材についての話をしたりと楽しい雰囲気の中で食事ができるように声かけをしている。
	21	食事の場、食材、食器等に配慮しているか	A	献立は、季節の移り変わりに合わせ、旬の食材を使用し、行事メニューや物語メニュー郷土料理メニューなどを取り入れている。食器・食具は年齢に合ったものを使用している。
	22	子どもの喫食状況を把握して、献立の作成、調理の工夫に活かしているか。	A	給食スタッフは子どもたちの喫食状況を見て、残食状況もチェック・記録し、献立作成に反映させている。2週間ごとの繰り返しメニューにすることにより、切り方、味付けの工夫を改善できる。
	23	午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しているか。	A	乳児はコドモン内の睡眠チェック表を使用し、睡眠時の体調をチェックしている。年長児は秋以降から午睡時間を減らしていくが、個々の状況で対応している。室温や採光の調節をし、心地よい眠りにつけるよう配慮している。
	24	排泄は個人差があることを十分に配慮して対応しているか。	A	各家庭と連携を取りながら、無理のないように進めている。トイレがリラックスしていける場所になるよう環境面の工夫をしている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・コロナ禍以降食事を楽しむことが制限されていたが、やっと食育も行えるようになった。また幼児のバイキング給食も少しづつ始めるができている。			
	【課題・対策】 ・コロナ禍前のことを知らない職員もいるため、以前のようにするのではなく新しいやり方を取り入れるなどする必要がある。それには職員が主体的に意見を述べ計画できるようにしていきたい。			

パレット保育園・高田

2023年度自己評価表

評価日：2024年2月22日

2023.07.24第三版

項目	番号	内容	評価	実施していること
健康管理	.	子どもの健康管理は、適切に実施されているか。	A	園児健康診断記録表や健康カルテに、個々の健診・測定の結果を記録している。既往症・アレルギー等については全職員で情報共有して対応をしている。
	26	感染症等への対応に関するマニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。	A	独自の感染症マニュアルがあり、保護者にご協力いただく部分は園のしおりに記載をしている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・感染症発生の場合は、保護者に配信と園内掲示を行っている。また、感染が増えた場合には乳児、幼児と明記することで感染フロアの情報提供をしている。			
	【課題・対策】 ・兄弟が感染症にり患した場合でも未感染者兄弟が登園し園内で感染拡大した事例があった。園医からは家族内が一番感染リスクが高いので、感染が増えてきた際には休むなど協力を仰ぐようにアドバイスがあったがなかなか家庭の事情もあり難しかった。			
衛生管理	27	衛生管理が適切に行われているか。	A	保育室・トイレ・厨房を毎日清掃し、掃除チェック表を用いて管理している。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・掃除や消毒はコロナ禍が明けても変わらず小まめに行った。			
	【課題・対策】			
安全管理	28	安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されているか。	A	毎月1回の避難訓練を通し、職員間でも常に迅速に対応できるよう話し合っている。全スタッフが救命救急研修を受講している。コドモンによる緊急メールおよび緊急掲示板で保護者への連絡がスムーズにできるよう配慮している。
	29	事故やけがの発生時及び事後の対応体制が確立しているか。	A	事故の振り返りシートを作成し、再発防止を園内で話し合い、実行している。近隣医療機関をまとめた一覧を作成し、迅速に対応できるようにしている。
	30	外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。	A	玄関はオートロックになっており、在園児の保護者のみにカードキーを付与している。来客やカードキーを忘れた場合は名前・顔確認後に施錠解除している。警備会社への通報システムがある。不審者対応訓練を年1回おこなっている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・不審者訓練は警察署にお願いし指導してもらい学びがあった。 ・保護者参加の引き取り訓練を初めて行った。			
	【課題・対策】 ・保育者は災害の状況を判断し避難誘導を自主的に行えるかは課題があるので事例ごとの訓練をたくさんするようにしたい。			
人権の尊重	31	保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。	A	否定語を使わないよう職員間で話し合ったり、研修などで言葉づかいを振り返ったりしている。子どもの名前は呼び捨てにしない。
	32	必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がされているか。	A	仕切りを使うことでプライバシーを確保したり、好きな遊びや一人になれるコーナーを設置している。
	33	個人情報の取り扱いや守秘義務について職員に周知しているか。	A	守秘義務については全職員が入社時に説明・研修を受け、誓約書を提出している。保護者にも個人情報の取り扱いについて同意書をいただいている。個人情報は鍵のかかる書庫で管理をしている。
	34	性差への先入観による役割分業意識を植え付けないよう配慮しているか。	A	発表会での役決めなどは子どもたちと話し合って決めている。父の日、母の日は感謝の日とし、父・母で分けることはしない。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・オムツ替えや着替えの際はロールカーテンを閉めたりパーテーションで仕切りをしプライバシー保護の徹底をしている。 ・不適切保育が起きないよう定期的に園内研修を行い、またより良い保育の為の動画で学ぶ機会を持っている。			
	【課題・対策】 ・子どもへの声掛けなど、直接保育者同士で注意し合えることはなかなかできていないので、クラスMtgなどで言い合える雰囲気を作っていきたい。			
保護者との交流・連携	35	個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等を行い、情報共有や相談対応をしているか。	A	送迎時に様子を伝えるだけでなく、年1～2回個人面談をおこなっている。またそれ以外でも相談があった際には個別に対応している。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・例年のPGT参観に加え、今年度は普段の様子をみてもらう保育参観を実施した。			
	【課題・対策】 ・参観などを増やしたが、保護者はより様子を見たいと思うので園での生活の様子を気軽に感じられる工夫を考えたい。			

パレット保育園・高田

2023年度自己評価表

評価日：2024年2月22日

2023.07.24第三版

項目	番号	内容	評価	実施していること
保育所の専門性を活かした相談機能	36	地域住民への情報提供や育児相談に応じているか。	A	育児相談日（要予約）を設け、対応している。夏祭り等は園を開放し、地域住民の方も気軽に園を見ることができるようにしている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・子育て支援行事を行い、園の玩具を使って親子でゆったり遊べるよう提供した。その中で子育ての不安や悩みを聞くこともできた。			
	【課題・対策】			
保育所の地域開放	37	子どもと地域との日常的な交流により、子どもの生活の充実と地域の理解を深めているか。	B	近隣園と交流をしたり、地域のイベントやお祭りに参加している。お散歩時には地域の方に積極的に挨拶をし、交流するようにしている。
	38	利用希望者の問い合わせや見学に対応しているか。	A	定期的に見学日程を設け、対応している。また都合がつかない方には個々の希望日に対応をしている。ホームページにも詳細を記載し、メールでの問い合わせも可能としている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・今年度は子育て支援行事を定期的に行い、PGT体験や離乳食の試食会を実施し好評だった。 ・見学会はできるだけ日数を設け、丁寧な説明と自園をアピールした。			
	【課題・対策】 ・後半は子育て支援行事があまり実施できなかった。 次年度は担当職員を決め年間を通して行えるようにしたい。			
実習生・ボランティアの受け入れ	39	実習生・ボランティアの受け入れを適切に行っているか。	B	希望があった場合、できる限り受け入れをしている。受け入れ時には施設長が園の方針や注意事項等をしっかりと伝え、参加してもらっている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】			
	【課題・対策】 ・実習生、ボランティア共に受け入れ態勢はできているが、募集がこない。職場体験や地域の方が気軽にボランティア活動が出来るような取り組みが課題。			
職場の人材育成	40	保育園の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みを行っているか。	B	募集媒体・ホームページ・面接時にパレット保育園の理念や方針が伝わるように説明している。また入社後も内部・外部問わず研修に参加している。
	41	職員・非常勤職員の研修体制が確立しているか。	A	法人本部のさまざまな研修や外部研修を利用し、一人一人にあった育成計画にそって受講している。研修を受講した職員は研修報告書を作成し、内部研修にて他の職員と共有している。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・キャリアアップ研修を充実させ、積極的に研修に参加できた。			
	【課題・対策】 ・キャリアアップ研修は抽選のものが多く、希望の研修に参加できないことが多かった。希望の研修に行けるよう、また研修の際のシフト調整などが課題と感じた。			
職員の技術の向上	42	保育士等が保育や業務の計画及び記録を通してみずからの実践を評価し、改善に努める仕組みがあるか。	A	園内会議だけでなく、クラスや部屋の会議などを利用して、振り返りをおこない、計画作成に反映させている。
	43	保育士等の自己評価を踏まえ、保育所としての自己評価を行っているか。	A	年1回、自己評価シートを使い、会議などで振り返りをおこない、チェックをする。課題を見つけ、改善策などを意見交換している。また第三者評価も受審し、客観的な振り返りもおこなっている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・毎月の運営要項を確認した後、各自の気づきや業務への落とし込みなど考えるようにした。 ・月1回自身の自己評価を行い、課題を抱えている職員に対しては個別面談を行ったり定期的な指導を行った。			
	【課題・対策】 ・　職員の在職年数が上がりひとり一人のキャリアはアップしているので、行事など質の向上に向け自ら提案していけるようにしていきたい。			
経営管理	44	事業者として守るべき、法・規範・倫理等を周知し実行しているか。	A	法人本部にて最新情報を入手し、共有をしている。職員採用時には法人本部にて初期研修をおこない、個人情報の遵守、倫理について学んでいる。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・ニュースなどで取り上げられたものに対しては情報共有し、自分事としそれぞれ考えていった。			
	【課題・対策】			
園目標や自己評価結果に対しての反省・課題（事業報告書へ）	・今年度は地域の子育て支援に力を入れた。園の特色をアピールしたり離乳食試食会を行うことで、保育園を身近に知ってもらうことができた。離乳食試食会では全職員で関わり園の雰囲気を感じてもらえたと思う。 ・職員同士のコミュニケーションは園目標にも掲げてはいるが、時として意思のすれ違いやずれが起きてしまった。よりよいコミュニケーションが次年度課題となった。 ・研修は年間を通して今までになく充実できた。次年度以降も積極的に研修に参加し、個々の研修を園運営に生かす工夫をしていきたい。			